

令和8年度 第1回学校運営協議会

実施日	5月21日 木曜日	15:00 ～ 16:30 (場所：青洲ホール)	
記載者	千野 喬司	司会	市川三郷町統括 一瀬 浩 様

次 第

(1) 開会の言葉 (司会：一瀬 浩)

(2) 学校長あいさつ

【校長】 商業研究発表大会では、以前本校が日本一となったことがあり、昨年も上位となった。来年は関東大会が山梨で開催されるため、代表校として関われるよう努力していきたい。本校は普通科・工業科・商業科を有する総合制高校であり、各学科の専門性を深めつつ、学科横断の学びを進めている。例えば、工業科のコンクリート廃液の問題に対して商業科が解決策を考えるなど、融合的な学びに取り組んでいる。また、スクールポリシーとして、自ら考える力や多様性を認めて協働する力の育成を重視している。社会との連携は不可欠であり、本協議会は地域と学校をつなぐ重要な組織である。本日は基本方針について審議・承認をお願いしたい。

(3) 委員紹介 (抜粋)

(4) 要綱説明

【藤巻教頭】 学校評議員制度との大きな違いは、基本方針の承認を行う点。また、学校運営について意見を述べることができる仕組みとなっている。

(5) 会長・副会長選出

会 長 丹沢 公彦 様

副会長 一瀬 浩 様

(6) 会長・副会長あいさつ

【丹沢様】 積極的に意見を出し合い、良い協議会となるようお願いする。

【一瀬浩様】 応援団としての立場で、皆とともに協議を進めていきたいと考えている。

(7) 議事 (議長 丹沢 様)

ア 令和8年度学校運営基本方針について (校長)

【校長】校訓は「信種・敬愛・共創」。育成する力として、・自ら考える力・つながる力・挑む力・成し遂げる力を掲げている。ICTの活用、探究学習の充実、生徒支援、地域連携を重点的に推進する。

【村松様】共創プラットフォームとはどのようなものか。

【校長】学科横断のつながりを強化する仕組みであり、今後整備していく予定である。
(承認)

イ 学校評価報告書について (教頭)

【教頭】昨年度は多くの意見が寄せられた。今年度はそれを踏まえた評価項目を設定している。

(承認)

ウ いじめ防止基本方針について (教頭)

【教頭】全国では約76万件、県内では約1,400件のいじめが確認されている。本校では重大事態は0件、軽微な事案が2件であった。相談体制により対応している。

【立川様】アンケートは実施しているのか。

【教頭】実施している。現時点で重大な問題は確認されていない。

(承認)

《追加》 教育課程について (教頭)

【教頭】単位数および類型についての説明

【校長】本校は学科横断型の教育を維持していきたいと考えている。しかし、現在、英語・数学・家庭・商業において教員が不足している状況である。

(承認)

エ 質疑応答ならびに情報交換

○人材・就職

【柳沢様】建設業界では現在、高卒人材の需要が高まっている。即戦力となる人材が必要である。

【青木様】若年層は離職が早い傾向にあり、学校教育の中でのフォローが重要である。

○人口・社会構造

【一瀬良様】人口減少は避けられず、人手不足は常態化する。AIの進展も含め、人材配置の問題が大きくなる。

○地域との関係

【一瀬浩様】みさと学と高校教育をつなげ、地域一体での学びを進めていきたい。

○安全面（通学）

【村松様】市川本町駅付近の横断歩道で通学時に生徒が集中し、交通が滞る状況が見られる。安全面への配慮が必要である。

○SNS・犯罪

【立川様】SNS を起因とする事件が増えており、指導の必要性を感じる。

【齊藤様】犯罪の手口は変化しており、継続的な教育が必要である。

○バス・輸送問題

【丹沢様】他県の事故の影響もあり、運用が難しくなっている。

【校長】教員運転、保護者送迎、業者委託のいずれにも課題がある。

【齊藤様】責任の所在を明確にする必要がある。事故発生時の責任が重要である。

○AI 活用

【齊藤様】AI は有用であるが、依存しすぎる危険性もある。自ら考える力の育成が重要である。

（８）連絡事項

【教頭】学園祭は 6 月 29 日・30 日に実施する。来校をお願いしたい。

第 2 回は 10 月、第 3 回は 2 月に開催予定である。

修学旅行は沖縄方面とする。

【一瀬浩様】高校生書道パフォーマンス大会 7 月 20 日に開催。協力をお願いしたい。

（９）その他

【校長】総合体育大会の結果は男子 15 位、女子 14 位であった。

閉 会